

向島まつり（2019年度）

団体名：向島まつり実行委員会

役職名：向島まちづくり実行委員会委員長

氏名：日高秀昭

<取組の目的, 目指していること>

本事業は、向島の健康福祉と多文化多世代共生のまちづくりを目的とし、向島5学区の住民が参加する向島地域全体の祭りを実施することによって、向島のまちづくりビジョン推進に参画する住民を広く掘り起こし、地域の住民や事業者が街区や学区を越えて連携して活動することで、まちづくりの機運を高めることを目指している。

＜事業内容・実施日時・場所・参加者の状況等＞

本年度の向島まつりは、
10月26日（土）と10月29日（日）の2日にわたり、
「向島祭り2019 Part 1、Part2」として、旧向島中学校跡地（むかちゅうセンター）と向島ニュータウンセンター広場の2会場で実施した。

むかひじま ★2019

向島まつり

今年の「向島まつり」は2日間
10月26日・27日

▶ **第1日：10月26日（土）午前10時～午後4時**
「アジア・アフリカとびっくり映画祭&むかちゅうセンター文化祭」
会場：元向島中学校（むかちゅうセンター）体育館・交流ルーム

- ◆アジア・アフリカとびっくり映画祭 10：00～12：30 映画『PK（インド映画）』上映
※インドの今がよくわかり、笑えて、泣ける映画です。（会場：むかちゅうセンター体育館：入場無料）
- ◆むかちゅうセンター体育館・舞台 13：00～14：30
*3街区コーラスグループ「なごみ」の演奏 *「むかちゅうセンター歌のつどい」のみなさんの演奏
 *フィリピンのみなさんのバンド演奏 *ペルーのみなさんのマリネラダンス *西川川シアさんの演歌・他
 ◆会場では「無料・試食会」があります。
- ◆むかちゅうセンター交流ルームなどで展示を行います
※『（公財）中島記念国際交流財団助成』（独）日本学生
 支援機構留学生地域交流事業の助成を受けて実施。

★伏見～るかるた大会
*14：30～16：00 むかちゅうセンター交流ルーム

▶ **第2日：10月27日（日）午前10時～午後3時**
会場：向島ニュータウンセンター広場

【グルメ・手作り市 10：00～15：00】

- ▶模擬店：「にっこりカフェ」、パウンドケーキ、クッキー、綿菓子、ソフトクリーム、豚汁、カレー、惣菜、かやくご飯、唐揚げ、チヂミ、焼きそば、うどん、たこ焼き、弁当、おにぎり、ラテン料理、天然酵母パン、ペルーの飲み物、ベトナムの生春巻き、水餃子、肉まん、ぜんざい・他
- ▶向島ニュータウンセンター商店会「向島まつり」協賛企画
- ▶朝採り新鮮野菜市 ◆子どもの遊びコーナー
- ▶手作り小物、手芸品、和雑貨、古本の展示・販売他
- ▶向島城・伏見城立体地図など各種パネル展示、図書コーナー
- ▶無料健康相談：骨密度測定、血管年齢測定、脳トレ他
- ▶囲碁・将棋コーナー

【中央舞台 11：00～15：00】

- ◆京都すばる高等学校吹奏楽部のマーチング
- ◆京都すばる高等学校、向島秀蓮中学校、向島東中学校、横島中学校の各吹奏楽部による合同演奏
- ◆京都文教大学「風竜舞伝」の「よさこいソーラン」
- ◆Pink cherbic ダンスサークルのヒップホップダンス
- ◆野の百合保育園、空の鳥幼児園のみなさんと子どもたちの歌
- ◆「M's HOUSE」のみなさんのキッズダンス
- ◆「和太鼓ユニット神威（カムイ）」による和太鼓の演奏
- ◆種智院大学軽音楽クラブ「音智会」の演奏
- ◆「夕陽紅の会」のコーラス、二胡の演奏・他
- ◆ミス京都 2019ファイナリスト来場





向島オンラインズ ケート無料体験会
*日時：10月27日（日）
 10：30～15：00
 *会場：むかちゅうセンター体育館

主催：向島まつり実行委員会 全助成：京都府・向島ニュータウンに於ける地域団体活動ステップアップサポート事業 事後援・助成：京都新聞社会福祉事業団
 協力：向島ニュータウンセンター商店会、京都文教大学、種智院大学、むかひじま・けんこうくらぶ、愛明院、ワークス共同作業所、笑顔つながろう会、
 NPO法人向島駅前まちづくり協議会、向島中央公民館愛護協力会、京都市住宅供給公社、マリオングループ・ジャパンフォーマーシー事務局向島店、健康プラス、
 むかひじま病院、向島地域包括支援センター、京都市向島図書館、伏見区青少年活動センター、京都市環境政策局、向島二ノ丸学区社会福祉協議会、二の丸北学
 区社会福祉協議会、向島二ノ丸学区社会福祉協議会、向島二ノ丸・二の丸北民生児童委員協議会、藤の木民生児童委員協議会、向島つくり「ひまわり」、向
 島二ノ丸防犯推進委員会、向島二ノ丸防犯推進委員会、二の丸北交通安全推進委員会、UR西日本支社京京Tリア営業部

向島まつり2019 Part 1

「アジアアフリカ映画祭withインターナショナルフェス」&「むかちゅうセンター文化祭」

日時：10月26日（土）10:00～16:00

場所：旧向島中学校跡地（むかちゅうセンター）

①インド映画「PK」の上映（体育館：10:00～12:30）

- ・京都文教大学杉本ゼミ学生が企画・運営。
- ・さまざまな宗教が併存する現代インドの状況をコミカルに描くとともに宗教や文化の対立を越えた人間愛をうったえる映像作。
- ・上映前に、インド人留学生による映画と社会文化的背景についての解説を入れることで、異文化理解を深めることを目指した。
- ・地域住民約70名が鑑賞し、映画は大変好評だった。

②インターナショナルフェス(体育館:12:30~14:30)

- ・京都文教大学学生を中心に、向島学生センターの留学生と向島フィリピン・コミュニティが協力し企画・運営。
- ・体育館のステージで、地域住民のコーラスグループ、留学生、在日外国人が歌と躍りを披露。
- ・客席の後方では、留学生・在日外国人が各国のブースをもうけ、それぞれの国の文化や食を紹介するパネル展示と各国料理の試食会を実施。
- ・体育館外(入り口前)にも、フィリピン、ブラジル、ペルー、ロシアの外国人市民の模擬店が並び、各国の料理や食材、民芸品などが販売された。
- ・地域住民や外国人市民ら延べ400名が参加し、ステージと観客が一体となって楽しく文化交流した。



第10回 アジア・アフリカ とびっきり映画祭

日時：2019年10月26日(土) 10:00~16:00 (9:30開場/入場無料/事前申込不要)
 会場：むかちゅーセンター(京都市立向島中学校跡地) 体育館・地域交流ルーム
 京都市伏見区向島二ノ丸町151-55/近鉄京都線・向島駅より徒歩約8分

〈タイムスケジュール〉
 10:00~12:30
映画『PK』の上映
 監督 マーグダマール・セバシノ/2014年/インド

13:00~14:30
インターナショナルフェス
★留学生や地域住民の皆さんによるステージ発表

★Special
むかちゅーセンター文化祭 (18:00~19:00)
伏見〜るカルタ大会 (18:30~19:00)
★「むかちゅー」の3周年記念として、カルタの傑作「伏見〜るカルタ」で対決！ 商品もあり！



★Special
世界のごはんを楽しもう！
★世界中のごはんの魅力を、料理・動画で紹介



本校画祭は、アジア・アフリカの映像作品の上映を通して、多文化共生について考える機会となることを目指して、京都文教大学の学生と地域住民、留学生と一緒に企画してきました。

第10回という記念すべき今回は、「PK(ピーケー)」という、世界の常識をまったく知らない宇宙人がもった、「神様はどこにいるのか?」という小さな疑問が大きな奇跡を呼ぶ感動作品を上映します。世界での興行収入は100億円を超え、多くの人々に支持されたこの作品は、笑いあり、涙あり、そして社会の「当たり前」について、見直す機会になるものと思います。

他にも、留学生や地域住民による演奏やダンスのステージ発表、世界7カ国料理の試食会、絵画展、伏見〜るカルタ大会等、お子様から人まで幅広い世代の皆さんに楽しんでいただける企画を行います。映画祭は、入場無料・事前申込不要です。ぜひ、ご参加ください。



③水彩画「山本裕也展」・ワークショップ「ぬたくりアート」(地域交流室:10:00~16:30)

- 京都文教大学博物館学芸員講座学生が企画・運営。
- 抽象画家山本裕也氏の作品を展示、解説。カレンダー・絵はがき等を販売。
- 校舎渡り廊下前で、子どもたちを対象とした絵画ワークショップ「ぬたくりアート」を実施。
- 観覧者・ワークショップ参加者は約40名。



④伏見～るカルタ大会 (地域交流室A:14:30～16:30)

- 伏見楽舎有志が企画運営
- 京都市伏見区の歴史や文化を描いたカルタの説明パネルを展示。
- 地域の大人と子どもが集い、カルタの練習と大会(試合)を楽しみながら、地域の歴史を学んだ。
- 参加者約70名あまり。



向島まつり 2019 Part 2

秋の恒例「向島まつり」

日時：10月27日（日）10:00～16:00

場所：向島ニュータウンセンター広場

旧向島中学校跡地（むかちゅうセンター）

向島ニュータウンセンター広場会場

①展示ブース、物販、模擬店（参加43団体）

②中央ステージ：市長挨拶、コーラス、ブラスバンド、和太鼓演奏、ミス京都2019ファイナリストの紹介等

・広場には4000人を超える来場者があり、ステージや展示、模擬店等を楽しむ人たちで大盛況であった。







旧向島中学校跡地体育館会場

③インラインスケート・デモンストレーション
子どもたちを対象としたスケート教室も実施された。



<活動において苦労したこと、対策など>

1. 資金の調達：協賛金の募集

今年度は2日にわたり2会場で祭りを実施したため、これまで以上に事業資金が必要となったため、協賛金の募集に力をいれた。対策として協賛金の募集範囲を拡大した。

2. 参加団体の増加によるブース等のレイアウト

向島ニュータウンセンター広場での展示ブースや模擬店の参加団体が増加し、会場のレイアウトに大変苦労したが、ステージや模擬店の前に、誰もが利用できる椅子とテーブルを配置したのは好評であった。

3. 多文化交流企画の参加者募集

向島地域に暮らす外国人市民の祭りへの参加者をどう集めるかが課題だったが、外国系住民同士のネットワークをとおして多くの人が集まってくれた。

＜令和元年度の活動の成果＞

1. むかちゆうセンターを利用して2日にわたって向島まつりを実施したことにより、旧向島中学校の跡地が地域住民に広く開かれた活動場所であることを、多くの住民に知らせることができた。
2. 今年度のまつりでは、とくに中国帰国者、留学生、在日外国人らが数多く参画して地域住民と交流する機会をもった。それにより外国系住民が今後さらにさまざまな地域活動に参画していくための関係づくりができ、向島地域の多文化多世代共生のまちづくりの推進にむけた大きな成果があった。

令和元年度の活動の成果（続）

3. 向島まつりを契機に地域の事業者や個人が協賛金等をとおして地域行事を支えるシステムの構築を目指したことで、今後も毎年向島まつりを続けていくための基盤づくりを一步前進させることができた。

4. 展示・模擬店のブースの数は43とこれまでで一番多く、また参加者も自治会や事業者から外国系住民まで多種多様であり、向島まつりが本格的に地域に根付いてきたことが実感された。

5. ホームページやラジオ、タウン誌等によるまつりの広報活動を通して、向島地域の魅力を内外に発信することに貢献できた。

＜今後の活動展望＞

今年度は向島まつりを2日にわたって実施し、とくに第一日目に、多文化共生をテーマとした企画を行うことでまつりの内容をさらに充実させるとともに、多数の地域住民と留学生や外国系住民が親睦を深め、地域の多文化共生を推進することができた。この成果を、向島の多文化多世代共生のまちづくりにつなげていきたい。また、将来に向けて祭りの経済的な基盤を拡充し、補助金に頼らない持続可能なまつりの運営を目指したい。

＜自由記載＞

向島まつり、年々パワーアップしています。さらに楽しい祭りにするため、これからも企画のアイデアや参加者を年齢・国籍を問わず広く募集します！応援、お願いします。